

会議録（要点記録）

令和5・6年度 堺市南区政策会議 第6回全体会	
開催日時	令和7年2月5日（水） 午後6時30分～8時00分
開催場所	南区役所 201・202 会議室
出席構成員	<p>公益的活動を行う区民 大島構成員、岸本構成員（職務代理者）、木谷構成員、小林構成員 区長が行う公募に応じた者 北西構成員、向井構成員 学識経験者その他専門的知識を有する者 橋爪構成員（座長） 区域内で教育・子育て支援に関わる者 三戸口構成員、中島構成員、中辻構成員 区民の生活に密接に関わる民間事業に携わる者 今中構成員、中芝構成員</p>
事務局 管理職員	<p>南区役所 中山区長、阿加井副区長、松本副区長、杉参事、西参事 仲田総務課長、上山区政企画室長、川畑自治推進課長 牧市民課長、岡野保険年金課長、森岡生活援護課長 浅野地域福祉課長、百嶋子育て支援課長、檜本南保健センター所次長 市長公室 神田政策企画部先進事業担当課長 泉北ニューデザイン推進室 北口事業推進担当課長、石崎スマートシティ担当課長</p>
議題	<p>1. 開会 2. 議題 （1）（第1期）南区政策会議の議論を反映した施策・事業の進捗について （2）第2期堺市南区政策会議総括 ～ウェルビーイングの向上に向けた取組～について 3. 閉会</p>

<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・配席図 ・資料1－1 評価シート（南区独自の防災力向上モデル） ・資料1－2 評価シート（子育て・教育、健康長寿などにおける南区 ウェルビーイング総合プロジェクト） ・資料1－3 評価シート（南区ブランド戦略） ・資料2 第2期堺市南区政策会議での議論について ・資料3－1 ウェルビーイング向上に向けた取組（安全・安心） ・資料3－2 ウェルビーイング向上に向けた取組（子育て・教育、 健康長寿） ・資料3－3 ウェルビーイング向上に向けた取組（ブランド戦略） ・資料4 南区のウェルビーイングの向上のための方向性
-------------	--

審議状況

開会（午後6時30分）

1. 開会

区政企画室主幹

定刻になりました。ただいまから第2期南区政策会議第6回全体会を始めさせていただきます。

私、本日の司会を務めます事務局の南区役所区政企画室、宮本でございます。

皆様、何かと御多用のところ、御出席を賜り誠にありがとうございます。

本日の会議は公開としており、会議録作成に当たり正確を期すために議事内容を録音いたします。また、記録のため会場の様子を撮影させていただきますので、御了承ください。

なお、本日は鈴木京子構成員、鈴木有美構成員が所用により欠席でございます。また、北西愛構成員が所用により到着が遅れられると連絡を頂戴しております。御了承ください。

それでは、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

《資料確認》

それでは、以降の進行につきましては、橋爪座長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

2. 議題（1）（第1期）南区政策会議の議論を反映した施策・事業の進捗について

橋爪座長

それでは、議題に入りたいと思います。

議題の1つ目であります。第1期南区政策会議の議論を反映した施策・事業の評価検証についてであります。

本件は、令和6年5月17日に開催いたしました第4回全体会で皆様の評価検証いただきました件でございます。令和7年1月末時点、一部12月末時点での令和6年の取組状況につきまして事務局から説明をお願いいたします。

自治推進課長

私のほうからは南区独自の防災力向上モデルとして、令和6年度に実施し

ました3つの事業の評価検証について御説明いたします。着座にて失礼いたします。

資料1ー1「南区政策会議3つの方向性評価シート（南区防災力向上モデル）」を御覧ください。

事業内容につきましては、自主防災組織、実務者連絡会の開催、小学生防災リーダー養成講座、防災士養成プログラムの3つを実施してまいりました。これらの事業についての評価となります。

1点目、自主防災組織実務者連絡会についてです。

7月に実施しました実務者連絡会では、自治連合協議会に加盟していない校区も含めまして、南区内全20校区の自主防災組織の実務者が参加され、達成率は100%となっております。

また今週末、8日土曜日には、実務者連絡会と防災士スキルアップ学習会と併せた研修会を実施いたします。昨年度、当区政策会議のほうでいただいた御意見も踏まえまして、区内の防災士の方により多く参加していただけるよう合同開催としております。

続きまして2点目、小学生防災リーダー養成講座についてです。

防災の基礎知識を学ぶ防災オリエンテーションの実施と、災害による避難時の疑似体験を行う防災デイキャンプを昨年度に続き実施いたしました。参加者は延べ115名、達成度は144%となり、目標値を大きく上回る結果となっております。

参加者への防災に関するアンケートでは、校区の防災訓練に参加したいと回答した割合が73%で、達成度は146%と、防災意識の醸成に寄与できたと考えております。

また、指標以外の取組に関する評価に記載しておりますが、小学生防災リーダー養成講座が起点となり波及した小中学校での防災事業につきましては、学校分での合同授業も含めまして11小学校、8中学校で実施いたしました。学校教育における防災意識の広がりを大いに感じる結果となりました。

続きまして3点目、防災士養成プログラムについてです。

地域防災を担う人材を育成するとともに、自助・共助の意識の醸成につなげることを目的として、防災士資格の取得と研修を併せた防災士養成プログラムを実施しました。

令和5年度に防災士資格に合格した38名と、令和6年度に再試験に合格された2名を加え、100%の達成率となりました。今週末の8日に開催す

る2回目のスキルアップ研修では、大阪公立大防災研究センターから講師をお招きし、地域防災についてより実践に近い内容で御講演いただきます。

本事業の趣旨は、防災士資格を取得することと併せて、資格取得後に防災リーダーとして地域防災に関わっていただくことが重要であると考え、研修や多くの自主防災活動への参画を促し、参加状況の確認など効果検証を行うこととしております。

今年度実施した対象者へのアンケートでは、それぞれの校区の防災訓練に88%の方が参加した、もしくは、今後参加予定と回答しており、地域防災の新たな担い手の育成の成果があったと言えます。

これらの3つの事業は、防災意識の向上や共助の重要性を認識していただくことが目的であり、特に小学生防災リーダー養成講座においては、小中学校での防災事業を実施する学校が増えたことにより、防災意識の向上の裾野の広がりがより効率的に啓発活動ができたものと考えております。

また、自主防災組織実務者連絡会におきましては、校区同士が意見を交換することで、地区防災計画の策定が進んだことや、防災訓練の情報共有、訓練内容の充実、中学校区間での交流の芽ができるなど、小学校区の垣根を越えた連携も期待できるものとなっております。

今後も自治会への加入・未加入に関わらず、引き続き自助・共助の重要性を啓発し、さらに共助の輪を広げ、誰一人取り残さない安全・安心な未来を共創してまいります。

説明は以上です。

西参事

私のほうからは、子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクトについて、令和6年度に実施した事業の評価検証について御説明させていただきます。着座にて失礼します。

資料1-2を御覧ください。

1点目の取組としましては、南区健康長寿推進プロジェクトについてお話しします。

協定企業等と連携し、ヘルスケア等の情報発信や生活習慣病等の個別支援を行うみなみ健活キャラバンを今年度は新たに帝塚山学院大学の大学祭において、学生と一緒に取り組みました。若い世代に生活習慣予防を啓発できるよい機会となり、64歳以下の相談割合、健康相談数、どちらも目標値を大きく上回っております。

そのほか、認知症予防と軽度認知障害についての講演なども開催し、多くの方に御参加いただきました。

また、泉北高速鉄道の車内に二次元コードをつけたがん検診、特定健診の啓発ポスターを掲示するなど、情報発信も実施しました。

続きまして、2点目、南区子どもウェルビーイングシステム事業についてです。

生き抜く力を育てるワークショップ事業につきましては、12月末時点での実施件数は9件となっていますが、現時点で申込みが17件あり、目標値を大きく上回る見込みです。

セカンドステップ事業については、既に8園で実施し、目標値を達成しています。また、実施園の保育士の方がプログラム実施の資格を取得していただくなど、広がりを見せております。

最後に3点目、個に応じた最適な事業・サービスなどをプログラムとして提供する体制の構築についてです。

1つ目の指標、南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係るプロジェクト事業、サービス等の数につきましては、10事業を増やして、合計160事業を登録しました。この事業一覧は、今年度堺市ホームページで公開しています。

2点目の指標、特定健診検査受診率につきましては、無償化をしておりますががん検診とともに啓発を継続し、数値は上がっておりますが、目標値には達していない状況です。今後も継続して啓発してまいります。

各事業に係る評価指標の目標を達成させ、最終的な目標である「ひとがいきいきと輝き、幸せで、心身ともに健やかに暮らせる都市（まち）」の実現につなげられるよう、これからも個に寄り添ったサービスの提供に取り組んでまいります。

説明は以上です。

区政企画室長

私からは南区ブランド戦略について、令和6年度に実施した事業の評価検証について御説明いたします。着座にて失礼いたします。

資料1-3、2枚目のA3シートを御覧ください。

1点目、南区ブランドのロゴマーク活用についてです。

南区ブランドロゴマークが令和6年5月に決定し、その後ロゴマークを活用したグッズの作成や広報紙等での発信を行ったことで、昨年11月の南区

ふれあいまつりでのロゴマークの認知度は21%と、目標値の10%を達成しました。また、民間でのロゴマーク利用団体数も5団体と目標値を上回っている状況です。南区ブランドロゴマークの認知度が少しずつ高まってきており、今後も継続して活用支援を増やしなが、南区ブランドの周知浸透を行ってまいります。

続いて2点目、みなみ・みどりのわくわく教室についてです。

1つ目の指標につきましては、今年度の事業が終了して間もないため、現在アンケートを実施中であり、集計中と記載をさせていただいております。

続いて2つ目の指標、体験園数についても、目標どおりの4園を対象に実施することができました。今年度は体験できる野菜の種類を増やし、農家さんによる園でのお話も実施するなど、幼稚園、こども園がより参加しやすいように改善し、多くの子どもたちに対し、緑への愛着を育むことができました。今後は、体験園数のさらなる増加に向け、受入れ体制の調整や事業の仕組み化を進め、効率性を高めながら事業を継続してまいります。

最後に3点目、南区ブランド専用ホームページの活用です。

1つ目の指標、専用ホームページの閲覧数の前年度比増加率については、ロゴマークの活用を開始したこともあり、前年度比68%となり、目標値を大きく上回っております。

続いて2つ目の指標、専用ホームページでの掲載項目数についても、ロゴマークなどについての項目を増やすなど、目標値の掲載項目数12を上回る15となっております。

今後も掲載項目数や更新頻度を意識し、ページの構成もより見やすいものに改善することで、南区ブランドのプラットフォームとなるように整備してまいります。

各事業に係る評価指標の目標達成を目指しながら、南区ブランドの浸透、確立につなげてまいります。

説明は以上になります。

橋爪座長

ありがとうございました。令和7年1月末時点での取組状況について御報告いただきました。

現状は実績値が入力できない内容でございますので、事業の評価検証に関しましては3月に皆様にまた区役所より御意見いただいて、検証いただければと思っております。

本件に関しまして何か御質問・御意見あるかと思いますが、後でまとめて御発言あればと思います。

2. 議題 (2) 第2期堺市南区政策会議総括
～ウェルビーイングの向上に向けた取組～について

橋爪座長

それでは次第の2つ目に入ります。

議題2、第2期堺市南区政策会議総括～ウェルビーイングの向上に向けた取組～についてであります。

資料2を御覧ください。

改めてこれまでの振り返りになりますが、第2期の政策会議では、南区ウェルビーイング見える化プロジェクトのアンケート結果を基に南区のウェルビーイングについて議論いただき、イメージ図の提示やウェルビーイングを高めるための取組について提案を行いました。

アンケートの調査結果やウェルビーイング像から、今後に関しては第1期南区政策会議の方向性を大きく変えるものではなく、取組を強化していく方向であるということ結論を、この場では至ったと理解を、そういう形で協議いただいているというふうに理解をさせていただきます。

それでは、南区のウェルビーイング向上に向けた取組と今後の方向性について、お示しいただければと思います。事務局、お願いいたします。

自治推進課長

資料3-1「ウェルビーイング向上に向けた取組について（安全・安心）」を御覧ください。

第1期の南区政策会議で御議論いただき、南区独自の防災力向上モデルとして5つの柱を策定いたしました。それらの柱を基に、令和5年度、6年度において、自主防災組織、実務者連絡会の開催、防災士スキルアップ学習会の開催、小学生防災オリエンテーション、防災デイキャンプの開催を事業化し、実施してまいりました。

また、令和6年度は、小中学校の防災授業にも注力し、防災意識の醸成に寄与してまいりました。これらの事業は令和7年度も引き続き実施してまいります。

さらには、南区内の鉄道3駅を対象とした南区帰宅困難者対策検討会議を

設置し、災害時の帰宅困難者対策に取り組みます。

また、防災福祉の根幹とも言える避難行動要支援者の対策として、災害時に役立つようなマニュアル、ハンドブックの作成に着手いたします。

これらは資料にお示ししておりますとおり、南区独自の防災力向上モデルの5つの柱に沿った事業であり、今後も災害から命を守るため、全ての区民が防災力を高め、誰一人取り残さない安全・安心な未来を共創することを目標に、防災事業を推進してまいります。

以上です。

西参事

続きまして、子育て・教育、健康長寿について、令和7年度の取組について御説明いたします。

資料3-2を御覧ください。

子育て・教育については、これまでの会議の中で、幼少期、初等教育、中等教育が一体でつながっていることが大事といった御意見をいろいろいただきました。令和7年度におきましては、従来から実施している南区子どもサポートプラットフォームを推進することで、区内教育機関との連携をさらに強化し、切れ目のない支援の充実を図ってまいります。

また、ウェルビーイング像の中から漏れやすいような方々が得意となるところで力を発揮できる具体的な取組があるとよいという御意見もいただきました。

昨年8月より市内3か所に子どもの居場所「りんくる」を新たに設置し、学校に通いづらさを感じている子どもの居場所として、地域の支援者との協力により運営しているところです。御意見にあったウェルビーイング像から漏れやすい保護者の方や子どもたちにとって、安全で安心できる場所となるよう、令和7年度においても取組を進めてまいります。

また、健康長寿についてですが、それぞれの世代や状況に応じた支援が必要だとの御意見をいただいております。中でも、南区においては高齢者の割合が高いことから、令和7年度はフレイルや軽度認知症の啓発、健康教育など、フレイル予防の取組をさらに充実させていきます。

また、引き続き、みなみ健活キャラバンを実施し、健康への無関心層やハイリスク者など、世代や健康状態に応じた個別相談を実施していきたいと考えております。

以上です。

区政企画室長

続きまして、魅力ブランド戦略について、令和7年度の取組について説明します。

資料3-3を御覧ください。

魅力ブランド戦略については、これまで会議の中で、南区の全ての活動にM&GREENsをつけて展開をすることや、ロゴマークに触れる機会を増やし、とにかくロゴマークを見たことがある状態にしていくことが大事などの御意見をいただきました。令和7年度は新たに動画を活用した南区ブランドの発信やロゴマークを使用する職員の意識醸成を目的としたインナーブランディングを行い、南区役所の事業でロゴマークを積極的に活用するなど、南区役所一丸となって南区ブランドM&GREENsの発信を行ってまいります。

また、公園緑地などの緑を区民の皆様がどのように感じているか検討していく必要性についても御意見をいただきました。本年度は1月19日に南区ブランドワークショップを実施し、その中で、公園や緑地などの緑を含めた南区の魅力、ウェルビーイングについて、参加者の皆様と一緒に考える機会を設けました。令和7年度も公園や緑地に対しての区民の皆様の御意見を参考に、南区の地域資源である緑の見せ方や発信方法の検討を継続的にまいります。

また、自然や人との触れ合いを目的としたみなみ緑道ウォーキングを引き続き実施し、みなみ・みどりのわくわく教室については、体験内容や受入れ体制を構築し、より多くの子どもに南区の地域資源である緑への愛着を持ってもらえるよう、体験を増やし、実施します。

ロゴの活用事例の紹介や、「みどり」の可視化、自然を生かしたイベント情報のSNS等での積極的な発信や、本会議で策定したM&GREENsロゴマークの活用による南区ブランドの浸透、確立に取り組みます。

説明は以上になります。

杉参事

私のほうからは、資料4、南区のウェルビーイング向上のための方向性について説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。

南区のウェルビーイング像につきましては、南区ウェルビーイング見える化プロジェクトにおけるアンケート調査結果を踏まえ、構成員の皆様へ御議

論いただき、資料4の左の図のように一定形にすることができました。また、第5回全体会議や南区選出議員との意見交換会において、ウェルビーイング像やウェルビーイング向上のための取組について御意見をいただいたところでございます。なお、先ほど資料3の1から3においてこれまでの南区政策会議での議論を踏まえ、令和7年度取組案について説明させていただきました。

こういった経過を踏まえまして、南区のウェルビーイングの向上のための方向性をまとめたものが資料4の右側に示したものになっております。順に御説明をさせていただきます。

まず、安全・安心からになります。

災害から命を守るため、全ての区民が防災力を高め、誰ひとり取りこぼさない、安全・安心な未来を共創することを目標に作成した南区独自の防災力モデルを基本として、継続して取り組みます。具体的には、それぞれの校区の地区防災計画の策定や改善、自主防災組織による防災訓練の充実など、共助力の強化に取り組みます。

また、小中学生から子育て世代や高齢者まで幅広く防災意識の向上のための啓発活動を推進します。

続きまして、子育て・教育、健康長寿のほうになります。

区民それぞれの方々のニーズや課題に応じた子育て・教育、健康長寿におけるウェルビーイングの実現をサポートすることを基本として取り組みます。

具体的には、子どものウェルビーイング向上のため、地域支援者や子育て関係機関との連携を強化し、子どもを主体とした事業を推進します。

健康長寿の取組としては、啓発の機会が少ない若い世代や要介護状態に陥りやすい高齢者など世代や健康状態に応じた健康支援を展開します。

続きまして、ブランド戦略のほうになります。

南区ブランド戦略に基づき、南区ブランドM&GREENsのストーリー化を図ることで、南区ブランドの浸透・確立に取り組みます。

南区ブランドのストーリー化は3つありまして、1つ目、南区の自然等を通じた「豊かな育ち」の実現、2つ目、緑空間や農作物などの「豊かな恵み」の活用、3つ目、南区で実現する「豊かなくらし」の共感、今後もこの3つのストーリー化を引き継ぎながら取組を推進します。

また、M&GREENsのロゴマークをあらゆる場面で活用し、南区ブランド「みどりとともにかなえる豊かなくらし」の浸透、確立等を進めます。

以上の今後の方向性を基軸にし、スマートシティの取組との連携を図りながら、次期南区基本計画や今後の施策事業への反映を検討していきたいと考えております。

説明は以上になります。

橋爪座長

ありがとうございました。

ただいまの説明に関しまして御質問、御意見ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。どなたからでも結構です、いかがでしょう。

お願いいたします。

向井構成員

子育て・教育、方向性2のところの子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクトの中の2のところなんですけども、下のほう、前向き子ども支援事業というのがあるんですけども、それとセカンドステップ事業とかがですね、関連して続いているんですけども、区のほうでは実際始めた当初からですね、やっぱり増えていますか。具体的に例えば参加するところが増えたとか、例えば開催する場所が増えているとか、何かそういう発展性みたいなものがあるのかな。この内容を見ていたらね、ホームページ拝見したんですけども、すごくよくて、こういうことを活用していけばですね、子どもが幼稚園とか小学校に、まず成長していく上で、いじめに対する考え方がなくなってくるんじゃないかな。まずお母さんが今後、ポジティブ・ディシプリンプログラムを経験すればですね、人と比べるんじゃなくて自分の子どもと向き合うという、何か非常に大切な部分をちゃんとやっているような感じなんですよね。だからこれはずっと浸透していけば、子どもが成長してですね、親から受け継いだ、変な言い方したらあれなんですけど、人と比べるみたいなことがなくなって、同じ子どもたちの友達関係もですね、人と比べてどうのこうのじゃなくて自分が何か、早く言えば生きる力を持っていて、自分が主体的に生きていけるような子どもになっていくんじゃないかなという気もあつたんで、こちら辺がですね、どの程度進んで広まっているのかなっていうのがちょっと知りたいなと思います。

橋爪座長

いかがでしょうか。

子育て支援課長

前向き子育て支援事業、ポジティブ・ディシプリンプログラムに関しましては、令和4年度からこの事業スタートさせていただいたんですけれども、令和5年度には年間2講座、今年度、令和6年度に関しましては、年間3講座開催させていただきました。1講座9回プログラムで実施されておりました、約3か月間にわたって連続で受講していただくという1つのプログラムにはなるんですけれども、ゼロ歳から18歳の子育てされている保護者の方を対象にしたプログラムということで、子どもさんの年齢に関わらず前向きな子育てに関する考え方、子育てに取り組む、取り組むというか、対する姿勢、考え方っていうようなものを御理解いただく講座になっておまして、子育てに対するノウハウを教授するような講座内容とは異なりまして、この講座を受講していただくことによって、養育者の方の子育てに対する考え方が変わるというようなことを実際受講していただいた方の体験談からも伺っております。

また、こちらのほう、講座の実施のほうも地域の子育て支援に携わっておられる方々のほうでも講座実施の資格を取得していただいて自主的に開催をしていただくなど、地域のほうでもこのプログラムの定着、広がりを見せております。

また、卒業生の方がお互いに交流できる場というものを設定させていただいております、こちらのほうでも講座修了後も皆さん子育てに関する情報交換が、意見交換などをしていただいているというふう聞いています。

セカンドステップ事業のほうについてなんですけれども、こちらのほうはこども園の5歳児クラスの方を対象に実施しておる事業でして、子どもの、自分の感情をコントロールする仕方であったりとか、他人との関わり方、ソーシャルスキルを学ぶというプログラムになっておまして、こちらはこちらの指標に書かせていただいておりますように、令和5年度は、6年度ともに8園ということで区内のこども園のほうで実施させていただいております。先ほど、今年度の成果のところでも報告にもありましたように、実施して協力いただいているこども園のほうで、保育士の方がプログラム実施のための資格を取得していただく講座を受講していただいて、それぞれの園で独自に開催できるような取組も進めていただいております、こちらのほうもこういった事業の定着、子育てに関する考え方の広がりというのが図られているのだと考えています。

以上でございます。

橋爪座長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

おおよそ、この会でいただいた意見を反映しながら案が出るとかと思えますけども。

中芝構成員

御説明いただいた資料の中で、3-3ですかね、ブランド戦略のところについて意見といますか、ちょっとコメントさしあげようと思っています。

市役所、区役所の中でもですね、このM&GREENsのこのマーク、非常に親しみやすいマーク、いろいろとですね、貼っているところ多いかなというふうにお見受けをしています。

まずおっしゃるとおりです、これ記載のとおり、とにかくロゴマークを見たことがある状態にして、浸透させていくということが一番で、その次にこのロゴマークは何を意味するのかっていうことを理解していただくこと、やっぱりそれ大事なんかなと思っています。その全体の1段階目に関しましては市内に関しましては、区役所とかですね、いろんなところでやられると思うんですけど、区役所に来られない方、来ない方に関しましては外のどっかですね、公園とか緑道、既にされてるかもしれませんが、公民館とか御協力いただける店舗とかにシール貼るとか、そういうことも一つかと思っています。また、ホームページ経由でちょっと見ただけなんですけど、南区の広報紙も一つかなと思っています、これは全宅に配られるのかなと認識してるんですけども、昨年6月にM&GREENsのこのマークができたときにどんと大きく特集されまして、それ以降ですね、左上には掲載されてるんですけど、本書めくっていてもそれ以外のとこで多分出てこないのかなと思っています、ここにも記載のとおりなんですけど、何らか関連づけて積極的に使って、少しでも関連あるものは、このマークを既につけていくってことも、やはりアナログですけれども、そういった広報紙とかっていうのも結構見る方多いと思いますんで、そういうとこで発信していくというところで、その後ですね、やはり市民の方に浸透してくればですね、認知されてこういう取組なんだってことがホームページとかで伝わっていけばですね、逆にこんな認知されて親しみあるものだったら、うちの企業でも使っていこうか

という企業も増えるかと思えますので、そういった形でぜひ広げていただければと思っております。

もし既にお考えということあるかもしれませんが、こういった考えとか、ほかにもアイデアあれば、またお聞かせいただこうと思えます。

橋爪座長

ありがとうございます。

お願いします。

区政企画室長

ありがとうございます。先ほどふれあいまつりのときのアンケートと実施したというところで説明をさせていただいたんですけども、知っているって答えていただいた方のうち15%ほどの方が、知ったところ何で知りましたかっていうのが広報「みなみ」っていうふうにお答えいただいています。それが特集を組んだ広報「みなみ」のことを指しているのか、左上に常に入れているのを見ていただいたことにお答えいただいているのか分からないんですけども、一定やっぱり広報紙に載せるっていうのは効果があるのかなっていうのは感じております。

定期的な発信っていうところでいうと、区役所版のLINE発信っていうのが3月からスタートすることになっていまして、その中ではこのロゴマークのこと、改めてこういった目的でやっていますっていうのは周知する予定にしておりますので、いろんな発信媒体っていうのがあるんですけども、そういった形で効果的な周知方法っていうのは、今後もずっと考えながら進めていきたいなと思っております。

以上です。

中芝構成員

ありがとうございます。広報紙も今年の6月のときは大々的に出ましたけれども、それ以降、左上には6月号を見てない方はこれ何だろうなって思っている方もいらっしゃるかなと思っていて、もし可能なんであればそういった関連施策のときに登場させるとか、もしくは次の6月、1周年になりますので、1周年のときに何かこういう形で活動を進めますみたいなことを記事に載せるとか、そういう定期的に全部は無理かもしれないんですけど、載せていくのもありかなと思えますので、よろしく願いいたします。

橋爪座長

お願いいたします。

大島構成員

先ほどのロゴマークの件なんですけど、うちのほうではTシャツにここに
入れさせて、袖のところに入れさせてもらって、それを行事あるごとにTシャ
ツは半袖なんですけど、冬でも着るように言って着させていただいています
ので、今回ね、みみちゃんの場合は、そのマークを使うのに随分手続が要っ
たんです。でも今回はこのロゴマークは何もしなくてよかったんで簡単に取
れたので使わせていただいています。

橋爪座長

こういうふうな使い方ができるという事例で自由に使ってくださいという
こと。

区政企画室長

大島会長の校区では、お祭りのときもTシャツ着ていただいて周知してい
ただいてありがとうございます。

橋爪座長

ほかいかがでしょうか。お願いします。

小林構成員

どの施策も少しずつ効果が出てきているのかなというふうに見受けられま
す。私もたくさん発言したので、子どもたちのことを、子どもの育ちを真ん
中に置いてくださって進めてくださっているということがよく分かる南区
の企画だなどは思うんですが、ただ、子どもたちがこちらに来てきている
のかとか、南区に移住しているのかってところの効果がやっぱ見えない
っていうのと、やっぱりたくさん子どもたちが来て、ここで育ってくれる
っていうことを願ってるっていうのはあって、ぜひIターンなりUターンな
りで帰ってきてくれる、やってきてくれる子どもたち、その養育者の方たち
が増えるといいなと思いながら見させてもらいました。

うちの子どもはもう大学生になりますので、なかなか子どもたちに触れる

機会というのは、普通に生活したら全然ないんです。今日のこの見せてもらった企画についても、やっぱり一般の方でなかなかこれを見る機会っていうのはないのかなと思っていて、帰っておいでよって言えたり、南区、泉北ニュータウンは子育てしやすいよって言ってもらえる状況に今なっているかっていったら、それはちょっと弱いのかなというふうに思っているのです、何かこの部分でもう少し露出は、このやっている施策自体を伝えられるような機会っていうのはもう少し増えてもいいのかなと思います。

移住だけじゃなくて、これ結構、高齢の方のウェルビーイングにも関わっているのかなと思っていて、居場所等やっている、やはり高齢の方、自治会等でもなんですけど、高齢の方、ふだんむっつりしてたり、御主人だったり奥さんだったり、御近所さんの不平不満を言っている方をですね、子どもたちの姿を見た途端にですね、急に顔が、どっからやってきたのかっていうぐらい笑顔になるんです。別に姿を見なくても、やっぱりこういうことを泉北でやっているよっていう姿、子どもたちの姿っていうのがいろんな場所で見れるといいのかなと。実物じゃなくてもいいと思うんです。動画であったり写真だったりって。あとは聞いてっていう。何かそういう機会がもう少し増えると、どの世代の方にとってもこのウェルビーイングっていうところに近づくのかなと思いつながら報告書を見せていただきました。

以上です。

橋爪座長

ありがとうございます。

区政企画室長

ありがとうございます。御指摘いただいたように、安心・安全に関しても子育てとかに関してもこのブランドに関しても結構事業やっているんですけど、こういう事業やっているというところは意外と広くは知られてないのかなっていうのは私たちも感じているところではあります。ブランド戦略っていうことでロゴマークも作って、このGREENの意味には自然だけではなくって安全・安心であったり子育てであったりって思いを込めているっていうところがありますので、私たちがやっている事業に対してもより知っていただくための発信っていうのは、いま一步踏み込んで工夫が要るのかなっていうことは課題と感じております。

先ほども方向性の中ではそういったところに力入れていきますっていうこ

とでお伝えはさせてもらったんですけども、せっかくやっている事業、地域でされているイベントっていうのも、こういった形でどの媒体を使って発信していくのが効果的かっていうところを考えながら次年度は取り組んでいきたいなと思っております。

以上になります。

橋爪座長

ほか、いかがでしょうか。

お願いいたします。

中辻構成員

本当にいい施策をやっていたらいいんですけど、1つ聞くんですけど、ニューデザイン室はどうなんですか、南区とどのようなタイアップしてますかね。あそこなんかもう泉北を売り込んでる課なんですから、あそこのメンバー全員にこのM&GREENsをTシャツ着させて、着てこいという形やったら、すごいPRになると思うんですよ。こないだも南海さんと一緒にまちの参観日という形で泉ヶ丘駅前からバスに乗って、他市の方を、南区のよさを再発見してもらおうようなことやってあったんですけど、ただ、メンバーが腕章つけてるんじゃないなくて、こういうTシャツつけて、あ、これ一体何なんですか、M&GREENsって何なんですかというところから入ってもらったほうが南区のよさって分かると思うんで、私はニューデザイン室に行ってみると、南区のためにつけて活動してくださいという形で言ってほしいなと思います。

事業推進担当課長

南区との連携ということにつきましては、定期的に意見交換をさせていただいております。そして議題にも上がっておりますロゴマークですね、こちらのほうも、うちと南海さんとで今年度いろいろ連携してPR事業させていただいてる中でも使わせていただいたりというような形でPRをさせていただいております。私たちの服装にそのようなデザインがついているというようなことはないんですけども、やっぱりこういった形でいろいろ連携してですね、しっかりと南区、泉北ニュータウン、それぞれの魅力を発信して、やはり住みやすいまちだと、住んでみたいまちだと、というようなことで多くの人に知ってもらうということが非常に大事だと思っておりますので、こ

れからもしっかりと連携していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

中辻構成員

はとバスみたいに旗持ったらどうですか。はとバスみたいに、M&GREENsの旗。

今中構成員

そうですね、背中に差して。

中辻構成員

あれ絶対いいと思いますよ、だから。もうあれ見たら、これ何ですかって絶対皆さん聞くとお思いますから。

事業推進担当課長

いろいろPRの仕方はしっかりと南区さんところに入って議論していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

橋爪座長

ありがとうございます。

では、ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは本日いただきました御意見、これまでの会議の御意見を踏まえまして、南区役所におかれましては、区民のウェルビーイング向上のための施策を推進していただくと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

この令和7年3月末をもちまして、本会議の任期は終了をいたします。

各構成員の皆様より一言ずつ、これまで参加いただいていた感想とか区政策会議についての御意見、そのほか堺市役所なりに御発言などございましたらと思っております。全員に一言と言いながらお一人2分程度、長くなったらほかの人が短くしてまくということもあろうかと思っておりますけども、今日最終回でございますので、御意見なり感想なりいただければと思っております。今後の展望について御発言あればと思っております。

大島構成員

南区の安全、教育、魅力向上に向けた取組が多角的に進められていること

を改めて実感しました。特に、地域の防災力の強化や子ども支援、ブランド戦略など多様な視点から住みよいまちづくりを目指している点が印象的です。そして、防災の取組において、地域のつながりを強めることを重視しているのが素晴らしいと思いますけども、自主防災組織の連携強化や防災教育の推進は実際の災害には役立つと思うんですけども、これらの取組がね、どのように進捗、実際に地域に進捗していくか、それを今後の楽しみにしていますので、例えば防災情報の共有の方法とか、より多くの住民が日常的に活用できるように取組があるとさらによいと思いますので、よろしくお願いいたします。

木谷構成員

今回のこの南区のウェルビーイング化というんですか、これは堺市の重点目標であります子育て世代の流入、定住促進のソフト面に当たるのかなと思っております、とても大事な要素だと思っております。

ただ、前回の会議で中辻委員からも問題提起されました人口減少を考えるに当たりまして、30代、40代の意識に注視する必要があるのかなと思っております。30代、40代の方は、私の思いでございますが、通勤負担の軽減や、時間の有効活用望んでおられるのが多いと思うんですね。ということは、ソフト面だけじゃなしにハード面を考える必要があるのかなと思っております。南区には、残念ながら30代、40代が望むような産業っていうのがないのが現状でございます。産業の誘致っていうのは、とてもハードルが高いことから、なかなか難しいので、今後としましてはね、団地活用の推進というのが、団地のところがまだまだ十分活用できてないと思います。働き方改革の手段として重視されているようなICT、これを活用した時間や場所にとらわれず柔軟に働く働き方、テレワークですね。そういうような可能な住宅の環境整備を進める必要があるのかなと思っております。でないと、人口減少というのは止まらないんじゃないかなという。どうしても新しく、私のおる槇塚でも住宅、多摩タウンみたいのができた。そこは一時的にたくさんの子どもがいたりしますけど、ある程度一定なれば、6年、7年なれば、それが見込めないような状態になるもので、どうしても30代、40代が定着できるような住環境の整備ということも同時に考えていかないといけないのかなという、そういう印象を受けました。

以上です。

小林構成員

2期にわたってこの区政会議に参加させていただいて、たくさん意見もお話しさせていただいて、活用させていただいているっていうことは非常にありがたいと思っていますし、実際に市民として声を上げることによって企画が動いていくというのを体感しながらこの4年間を過ごさせてもらっています。

やっぱりこんなふうに市民として声を上げないと、なかなか行政の方からああだこうだという取組ではうまくいかないっていうのも見えていますし、市民のほうもだんだん受け身になって丸とかバツとかつけるだけで終わってしまって、一緒に取り組んで自分たちでまちをつくっていくっていうシビックプライドみたいなものが醸成されないだろうなっていうのは一緒にここで議論させてもらって感じしているところです。ぜひ私みたいな普通の市民がですね、どんどんこういう政策会議に入らせていただいて、いろんな方の意見を取り入れていただいて、市民協働でまちづくりしていただけたらなというのは引き続き続けていただきたいなと思っています。

30代、40代ね、泉北ニュータウンにいる方たちもすごい元気で、先進的な方もいらっしゃるんで、そういう方もまたぜひこの場に参加していただけたらなと思います。

以上です。どうもありがとうございました。

北西構成員

この会議全体を通してなんですけど、びっくりしたのは、構成員の皆様からいろんな意見が出ていたと思うんですけど、すごい私にない視点が多くて、私も意見しに来てる立場なんですけどすごく勉強になることが多かったです。特にどんな人がいて、どんな支援を必要にしているのかっていうのは、あまり分からない部分も多かったりとか、特にアンケート結果を見たときに、世代、自分と違う世代のことを考えてない人が多いんじゃないかっていう意見にすごくはっとさせられた部分があって、興味がないっていうのはやっぱり知らないことが一つの原因というか、そんな人がいることを知らないから興味がないっていうのにつながっていると思うので、やっぱりそういう知らん、やっぱり特に若者とか泉北ニュータウンでいうとベッドタウンとして使ってる人、日中は都市に勉強に行ったり働きに出たりしてて、夜しか帰ってこない人ってやっぱり地域とのつながり薄れてしまって、寝に来てるだけみたいな、それでやっぱり地域への思いが醸成されるとはやっぱり思え

ないので、やっぱりこういう人がいるっていう、支援を必要としている人に向けた支援はやっぱり大事だと思うんですけど、その取組を、その支援当事者だけに向けるんじゃなくて、もっとオープンにしていくことで目に入るっていう、やっぱりそれが一つ大事なことのかなというふうに思いました。

南区っていうので自分、勝手にニュータウンばかり想像していたんですけど、やっぱり旧村地域も南区の中に入るなど、今私が南区を卒論で扱っているので、進めるうちに、あ、そういえば旧村地域も南区やんと思って、そう思うとやっぱり災害ってニュータウンのほうが起こりにくい、旧村地域のほうが起こりやすいっていうので、やっぱりニュータウンの中だけを想像するんじゃなくて、もっと南区全体としていろんな環境の中にいる人のことを考えないといけないなと勉強させられた2年間だったなと思いました。ありがとうございました。

向井構成員

いろいろ毎回必ずちょっと発言させてもらったり、いろいろしてきたんですけども、これ見て令和7年、私が今、言葉を発して行って、できることといえば、令和7年度の取組でこうしてほしいなっていうのがあるので、それをちょっと今、言おうと思います。

資料3-2なんですけども、データベース化されてるんであれば、それをもっと公表して行ってほしい。例えばこんなことでアンケートを取りました、それに対して、実際のところなんですけど、その実際のデータをですね、例えばアンケート結果として出してもらえただけで見ながらですね、いろんなことが考えられるわけです。だから私はこの政策会議、役を降りたとしてもですね、またそういうホームページ見ながらデータをどんどん南区の南区としてのね、いろんなデータを出してもらえれば、それを有効活用していけるんじゃないか。また自治会を通して提案していったりとかっていうのをやっていきたいなと思います。

それと3-3のですね、ブランディング力なんですけども、マークは大切です。露出するっていうことも大切です。私もずっと広告代理店の社員やってきましたんで、その辺はもうこれブランド戦略っていうたらもうマーク、露出っていうところから、最終的にはそこなんですけど、そのコアとなるコンセプトがあってテーマがあって、じゃあ何を伝えたいのかという、その何をのが皆さんやっぱり活動やと思うんです。そのその活動内容がこれだけいろんな先ほどポジティブ・ディシプリンプログラムとかも質問させていただいた

んですけども、細かな部分でいえば結構細かに、もう毎年ちゃんときちっとされてるんですよ。でもそれが何か、トータルとしてね、じゃあそのブランドを説明するときに、もう一度その整合性をね、ブランドで緑豊かな南区というブランドイメージであれば、今度遡って、じゃあそれはどんなこと、具体的にこんなことしてるんです、この分野ではこんなことしてるんですというふうに、もう一度そのブランディングの整合性を確認して、じゃあそのそれぞれの施策はどうなんやということをもう一度見直していけばですね、そのブランディングで、じゃあこうなんですけども、ここの部分で、例えばもっとPRしていけると思うんですよ。そこで、そのブランドのマークをつけていき、出していけばですね、ただ単に露出だけでブランドでして、例えばバスに貼ったりなんかするよりも、その日々の地道な活動の中で、ブランドマークを出していくことによってね、それはもっと、あ、こういうことなんやなみたいな、この緑豊かな南区っていうのはこういうことをあなたと共有してるんですよみたいなところを、現場の人がそれを伝えていけるようなところまで、できたらブランドとし、せっかくマークつくったんですから。

このマークは、非常に親近感があっかわいくて、何か非常に身近なマークやと思うんですよ。だからそれを身近な日々の活動の中でね、もっと生かして行ってほしいなというふうに思いました。

以上です。

中芝構成員

今回の資料の4でもありますウェルビーイングのイメージ像といいますか、ございます。こちらのウェルビーイングにつきましてのアンケートとかを取ってそれをですね、生のデータを分析され仮説を立てですね、それをこの委員会のメンバーで様々な角度からもんでいくということ、非常に私も勉強になりました。これせっかくいいもの出来上がったというところで、ブランドのイメージ像もそうですし、このブランドロゴマークもそうですけど、つくって終わりじゃなくて、つくってからだと思っていますというところで、こちらのブランド像に基づいた、これから枝葉の部分の施策がいろいろ走っていくと思います。これが半年後1年後とかに、この像に合っている形、目的に沿っているのかっていう検証っていうのは必ずしていただきたいなと思ってまして、それをこういった場とかでまた議論するとか、またアンケート自体もですね、1回取って終わりじゃなくて、これも同じ質問をですね、1年ごとにやっていくことで、経年変化とか効果、恐らく景気効果とかもいろ

んな深掘りとかできることになる、増えていくと思いますので、こういったものぜひ継続いただきながらですね、そもそもの施策がどうやったのか、もしかしたら像が間違ってるんじゃないとか、そういったことをですね、ぜひまたこういったメンバーで検討させていただきながら、今後、持続的に進めていただければと思います。ありがとうございました。

今中構成員

さっき小林さんも言うてはったけど、何か若い子に住んでもらうところまでいかれへんかったなってちょっと反省点をおっしゃっていました。あと、木谷さんも団地活用とかそういうことも含めて、そういう新しい人住んでもらうような仕掛けってやっていかなあかんよねって話があって、何かそれめっちゃ思います。やっぱりこうやって大人がこういう指針でやっていこう、魅力を発信しようということを真面目にこう語る非常に貴重な機会がこの政策会議やったんかなというふうに思いますので、私たちもZ世代の人たちに選んでもらえるようなまちづくりをせなあかんなど、改めて思いました。民間もやりますし市ができることもあると思います。ばらばらにやるんじゃないで、一緒にやっていきたいなというふうに感じました。

改めて、人ですね、住民の方でいろんな活動されている方がこの南区の宝やと思います。そういう人にフィーチャーしたような発信っていうのも、我々やっていきたいと思います。改めてそう思いました。ありがとうございました。

中辻構成員

まずは謝罪します。私、第1回目の政策会議から参加してるんですけど、第1回の政策会議のときに、今、現副市長に向かって、この施策会議やったという意味があっても南区はちゃんとそういうふうな答申を出してもやってくれるんですか。南区ちゃんと発展するんですかというようなことを前の区長さんとこ行って、言うたんですけど、この政策会議あっているいろんなことを発言もしたんですけども、実際にやってはることっていうのが、南区すごいなと思うんですよ。セカンドステップもやってありますし、これも一つ先ほどやりましたけど3月2日には第2回目の緑道のウォーキングあります。私この間の上山室長に向かって行きますという参加届出しました。3月2日に行ってきます。もしそのときには何かもしできたら、何かM&GREENsをつけて歩いてきたいなと思いますので、皆さんそういう形でどんどん

んどんと盛り上げていくという形でしていったほうがいいなと思います。

それであと、私がずっと4年間の政策会議に思ったことが、ターゲットはどこかと思ったら、やっぱりこの前の高校生会議見たときに、高校生って結構面白いこと考えているなと思いますので、高校生をいかに南区のよさを知ってもらおうか、大体、高校7校ぐらいありますから、泉ヶ丘使ったり、堺あります。その高校生に向かって、南区でこんな楽しい、楽しいと言ったらおかしいですけど、緑豊かで楽しいところあるよ、もっと知ってこうやというようなことをするべきやなと思います。

もう一つあるのは、平成生まれの人の人たちに対していかに南区のよさをPRするために、私いつも区長さん、各PTA、小学校、中学校、PTA総会とこ行って、保護者、大体平成生まれの方多いと思いますのでね、そういうところに行って、南区に対するタウンミーティングみたいなことをやりはったらどうですか。やって、聞かせてくださいとかなっていったら、そしたらやっぱりみんなが南区ってちゃんと聞いてくれるんだ、俺らんとこ来てくれるんやってなって、やっぱ今の方っていうのは、自分から動くことはあんまりしないと思いますので、逆にこっち側から行って、どうですか、今度PTAの案内のときに区長さん来られて、皆さんの御意見受けたいと思いますけど、総会終わってから残ってくださいという形で話聞いたとしても結構面白いんじゃないかなと思うんですけど。そういう高校生と、平成生まれの保護者を、これをいかに南区に向けさせていくかということは今後考えていっていただきたいと思います。

私、言いますけど、今年の1月から、令和7年1月から南区に越してまいりましたので、中区からもう私は南区のほうに来ましたので、来て、今後は南区のいろんなイベントがあつたら参加したいと思いますので、皆さん、私みたいな人間でございますけど、もしあれやったらにぎやかに呼んでもうたら行きますのでよろしくお願いします。すみません。

中島構成員

学校、小学校を運営する立場としてこの会議に参加して、南区でどのような事業が展開されているのか、その成果がどのような形になっているのかということにつきましては、この会議に出させてもらった内容は区の校長会等で共有させていただいたりしてきております。授業のほうも、区の校長会にもわざわざお越しいただいて、いろいろと詳しく説明していただいてということで、小学校長は非常に安心感を持って学校運営を進めることができ

いるということは、本当に感謝しております。ありがとうございます。

本日、うちの学校は入学説明会っていうのを行ったんです。もう年々やはり新入生の数っていうのが減ってきている現状があります。人口減少に伴って当然子どもの数も減ってくるのはそうだろうなって思うんですけども、ところが一方で、来年度に向けてもいろいろなことを計画等を進めていっている中でですね、個別の支援を要する、そういうケースっていうものの割合はもう本当に高くなってきているんです。来年度、本日現在で来年度うちの学校は290の在籍っていうの予定しているんですけども、特別の教育課程を組まないといけない子どもたちの割合っていうのが来年度3割超すんですね。このような状況があるんです。日本語指導を必要とする子ども、あるいは特別支援教育の視点で通級であるとか支援学級であるとか、そういう子どもたちを合計するとですね、3割を超えるっていうような、こういう現状があります。それに対してですね、区のほうでも、就学前のところから体験の格差であるとか、親御さんがやはりシングルも多くなってきたりとかしている、あるいは外国のほうから来られたりして、なかなかそのコミュニティーとのつながりを持ちにくい方々なんかの子どもさんをどうやって仲間として育てていくのかという、まちの中で育てていくのかっていうところで、区のほうもいろいろ事業を事業化して進めていただいているということは、本当にありがたいことだなって思っているんですけども、まだまだやっぱり見えていますと、保護者の孤立であるとか、なかなかその地域になじめないというような、そういう実態もあつたりします。これからもう50年経過していますので、本校のある庭代台というまちの中も団地の建て替えであるとか、あるいは空き家がやはり戸建てを中心にすごく増えてきている現状を見ていると、まちはこれからどんなふうにもた変わっていくのかなっていうところを、期待を持ちつつもですね、何かちょっと不安になる場所もあつたりするような現状があります。だからそんな中でですね、教育は区で全体的にっていうわけじゃなくて、やはり教育の場合はもっと大きな組織と、中でですね、指示を受けたりとかっていう形で進めていっているんですけども、でも、子どもたちの背景にあるのはやっぱり暮らし、そこは区にありますので、区役所とともに、学校も子どもたちのやっぱり安心・安全を守り、育ちを見守っていきたいなって思っておりますので、また引き続きどうぞ御協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。失礼いたします。

三戸口構成員

私のほうはこの1年、構成員として参加させていただきまして、このような施策で南区が施策を進めているっていうこと、実際具体的なことはここまで知りませんでした。私のほうはこの1年間、南区の校長会であったり、また本校の教員ですね、教員のほうもいろんな所から来ているんですけども、やはりこういうことは全く知らない状態でしたので、できるだけその辺は説明してきたつもりなんですけれども、なかなかやはり浸透してないっていうか、本質のところは理解できていないかなっていうのが現状です。

それで、南区の安心・安全とか子育て・教育っていうところは本当に私たちの教育活動の中で直結している部分です。特に防災意識の向上ということで、本校も今年、防災訓練のほうを南区自治推進課にお願いして一緒にやらせていただいたんですが、子どもたちはね、共助の大切さとかね、防災意識の向上っていうのは着実についています、それが結果として表れているっていうね、御報告もあったんですけども、ただそれが自分たちの生活の中にどれだけ落とし込めるかっていうところは、はっきり言って不安です。それをどういうふうにしていこうかっていうのを、学校だけではね、なかなかやっぱりその糸口が見いだせないっていうのが現状です。地域のほうでも防災訓練なんかされてて、ぜひね、そのあたり一緒にタイアップしたいなっていうふうに思っておるんですけども、いざ具体的に進めていく中で、やはりいろんなハードル、いろんな弊害がありまして、なかなかうまくいかない。でも実際、子どもたちは自分たちの住んでるね、生活の中でそういうことを身につけていかないと、それはほんまものではないと思いますので、ぜひやはり子どもたちの生活に落とし込めるような、そういうことを来年度以降、何か見いだしていけるようなことができたらなっていうふうに思っておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でございます。

岸本構成員

皆さん、お疲れさまでございました。この政策会議、皆さん方と一緒にできましたことを本当にありがたく思っております。ありがとうございました。

やはり我々の考え、皆さんの考え、ああ、こういった視点があるんだな、こういったことを心がけないかなというのはやっぱり気づきがね、いろんな面でありました。先ほどもね、空き家問題とかいうことをね、おっしゃってました。ニューデザインさんのほうもその対策、いろんなことをされてお

ります。南区のほうもやっております。ふだん私はきついことばかりニューデザインに、南区にも言っておりますけども、この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

それとは別にね、やはり南区さんとニューデザインさんは、一致団結しながら進めていかなければできないと、こういった政策会議で出た問題点を取り組んでいただくのは両者だと思います。それを我々がやっぱり検証、見ると、仕上げていただくようお願いをしたいとともに、我々はいつでもこういったことをやった中で、皆さん方の動きは見ていますよということをややはり思っていたきまして、市民目線、住民目線に立っていただいて、お願いしたいと。

また、この11月には近大病院が開院いたします。ようやく長きにわたったプロジェクトの完成を見ます。6,000人から8,000人程度の方が行ったり来たりをするということで、これはチャンスなのかなと、南区にとっても南海さんにとってもチャンスなのかなと思っておりますので、どうかこれを機に、南区は世界一だと言えるようにね、皆さん方の動きもこれから一助となるように一緒にやってね、南区を盛り上げていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひします。本当にこの会議ありがとうございました。

橋爪座長

ありがとうございました。全員2分守っていただきました。時間どおりに進行中でございます。

最後に私から本会議の総括といいますか、コメントさせていただきます。

この2年間、会長を務めさせていただきました。本当にありがとうございました。ここから出た皆様方の御意見も形、事業として立てていこうという思いが、前区長、現区長にありまして、政策に対して評価をするという場だけにとどまらず、南区役所ではそれに加えて、何か一緒にできるものをしていきたいと思いますという気持ちが強くあったんですね。1回目、中辻さんがおっしゃったからかもしれません。

中辻構成員

先生の尽力もあります。

橋爪座長

この間、南区のこと勉強させていただき、議論した内容がかたちになってきて幸いでした。特に国の制度にあつて、ウェルビーイングという言葉がよく使われるようになりました。ウェルビーイングとは何ぞやというところを深く議論して、活かしたという点が南区の今回の会議の特徴であったと思います。一般の人に伝え方すごく難しい言葉、何度か私も講演とかさせていただきましても、一人一人考え方や生活における幸せ価値は違うんですけど、それぞれ幸せに人生を過ごせる地域づくりが必要であるということです。そのように考えますと、南区は緑豊かな公園があり緑地があるということの魅力として、今後とも展開をできればというのを思い、ブランディングを進めていただきました。

皆様も3月末まではまだこの会議のメンバーですので、区政あるいは市政のほうにも御意見等あれば言っていただければと思います。また4月以降、構成員の皆様はこの会議のメンバーから外れますけども、引き続き南区のために御尽力いただければと思います。厳しいことも言っていただきつつ、南区役所の応援団でも、区役所頑張れというふうに応援していますということだと思います。継続して南区をよりよい地域にしていくということで、また私も御一緒できればと思っております。

本当に2年間6回にわたる政策会議でありましたけども、会議以外にも様々な機会、高校生の部会とかですね、本当によいミーティングができたと思っております。2年間ありがとうございました。

私は現在、堺市の次期基本計画の懇話会の座長をやらせていただいております。当然南区に関しましても次期の基本計画というものを考えないといけません。この区政策会議から出てきた考え方を、ぜひ次の南区の基本計画に反映させていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。本当に2年間ありがとうございました。

では、本日よりとさせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。

区政企画室主幹

ありがとうございました。

そうしましたら、閉会に当たりまして、南区長、中山より御挨拶を申し上げます。

南区長

改めまして、2年間6回にわたり御意見を多数賜りましたこと、まず心よりお礼を申し上げます。

今、ウェルビーイングの話が出ましたけれども、私が着任させていただいて、まず南区のウェルビーイングを区政会議で考えることが本当にしんどかったです。ウェルビーイングをまず自分自身が理解する、どのように理解したらいいんだろうということで、本当にこの2年間一緒に考えさせていただいたところです。

最後に図に表すところまで御意見を賜って完成させていただけたってことは、この図がぶれてない、第1期から引き継いで我々のやっていることがぶれてないんだというところの表れでもあるということで、本当にこれからも真っすぐこの実現のために進めるなというふうに思っております。

先程来、M&GREENsの周知のお話を多々いただいております、資料がなくて申し訳ないんですが、高校生部会のほうでいろいろ高校生の方から御議論、御意見いただいた中で、1つ、3月22日に南区内の高校生の、高校の音楽の軽音楽クラブっていうんですかね、そちらのほうの主催で隣の西原公園で行う音楽フェスティバルを今、企画しております。当時いただいた御意見の中で自分たちが企画して何かしたい、地域の方と交流したい、いろんなルーツを持っておられる高校生の方々が自国のことを分かってほしいっていうような御意見であったり、居場所、高校生にとっても居場所が必要だっていうような御意見もあって、その辺を今、まとめさせていただいた中で、高校生主体の音楽イベントに冠をM&GREENsとつけさせていただいて、実施する予定にしております。区としましてはこちらの高校生部会のほうで御発案いただいたということもありまして、この区政策会議の関連事業として3月の広報紙など区の広報媒体を使ってPRをさせていただきたいと思っております。区関連のブースも出したいなと思っておりますので、また、こんなんやってもいいよというようなところがあれば区のほうにお声かけをいただければと思っております。何分最初で、どうなるかまだまだ分からないところがあるんですけども、こういう形で発案いただいて一緒にやっていると、本当に高校生部会をさせていただいてよかったなというものにできればなと思っておりますので、注目していただければと思います。

これから、先ほど座長のほうにも御紹介いただきましたけども、来年度には、次の南区行政の基本方針であります計画を策定しないといけません。これ自体も行政がつくるものではあるんですけども、やはり皆様の御意見、こういった場を通じての御意見を踏まえてつくっていくものであると思っておりますので、1期また今回の2期と続いて御議論をしていただいたものを反映できるように、やはりつくる上でも独りよがりになってはいけませんので、いろんな意見が反映しているかどうかというところも引き続き皆様には御協力を賜りたいと思っております。区はニューデザイン含めて本庁も含めて一生懸命目的に向かって調整をしておりますが、南区の関連の皆様もやはりそれぞれのお立場あるかと思いますが、区に対して協力していただければ何とぞ御協力を賜りたいと思っております。やはり今、これまで

のコミュニティーであるとかいろんな形のものが転換してきているのかなと、本当にそれを様々感じるどころですし、ニュータウンも50年を経てワンサイクル終わっていく、人のつながり方というのも多々変わってきているところかと思いますが、いつも南区の方とこうやってお話をさせていただくと、子どもさんの話、人口流入の話、人口流入が何を意味するんかといいましたら、次の世代にやっぱりつなげていきたいというところが、お一人お一人の根底にあるんだなというところ、すごく感じるどころであります。その壮大なといいますか、次の世代にこの南区の財産をつなげていくというようなところ、一番の目的は皆さん一緒なんだなと感ずるところがございますので、その目標を高く掲げながら、日々どうしていくんか、次はどうしていくんかというようなところを一つ一つお話を進めて、合意を取ってやっていくというのが行政の在り方かなと思っております。変わらぬ御支援と皆様の知見を引き続き賜ればと思っておりますので、何とぞこれからも御協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本当に心より感謝を込めて、参画していただいたことのお礼を申し上げます。ありがとうございます。本日をもって、第2期最終回とさせていただきます。ありがとうございました。

区政企画室主幹

それでは、これもちまして堺市南区政策会議第6回全体会を終了いたします。2年間にわたりまして活発な御議論、誠にありがとうございました。

閉会（午後8時00分）